アセスメント　ひらがな１・２

（ひらがな１・ひらがな２共通）

読み書きに困難がある子どもへの学習支援を考えるためには、まずそれぞれの子どもの学習の実態を把握することが大切です。日常の中で、ひらがな一つ一つの文字に対してと、ひらがな単語の読み書き困難を把握し、その子にとっての適切な支援方法を明らかにします。

日常での読み書きスキル評価

[ひらがな文字]

ひらがな文字の読み

・ひらがな文字を読む際に、違った読み方をしたり、他の文字と区別が難しい。

→ひらがな文字の一覧表、ひらがな文字の絵カード。

ひらがな文字の弁別

・ひらがな文字を書く際に、鏡文字を書くことがある。

→ひらがな文字の触覚プリント。

音韻認識

・しりとりを行うことが難しい。

・単語を聞いて、特定の言葉を抜かして言うことが難しい。

→音の数（可変プリント）、しりとり（可変プリント）。

ひらがな文字の書き

・ひらがな文字を書くことが難しい。

→ひらがな文字の触覚プリント、かいてみよう１・２・３。

特殊音節の単語の読み

・特殊音節のある単語を読むことが難しい。

→拗音（ねじれる音）、促音（つまる音）。

特殊音節の単語の書き

・特殊音節のある単語を書くことが難しい。

→拗音ドリル、かいてみよう１・２・３。

[ひらがな単語]

無意味単語の流暢な音読

・日常の学習で、はじめて出会うひらがな単語を、流暢に読むことが難しい。

→一文字ずつさがそう１・２・３（WEB コンテンツ）。

有意味単語の流暢な音読

・日常の学習で、有意味なひらがな単語を、流暢に読むことが難しい。

→かいてみよう３